様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 55′ 31″	橋梁ID
				経度	135° 51′ 20″	34.92517,135.85544
下庄大橋 (ｼﾓｼﾞｮｳｵｵﾊｼ)	市道西笠取46号線	京都府宇治市西笠取下荘川西15番地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
宇治市	2023.9.8	河川	有	一般道	指定無し	水道

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	計測技研株式会社　高橋　功

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	ひびわれ	写真1　主桁08			
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真2　床版02			
下部構造		Ⅱ	剥離・鉄筋露出、洗掘	写真3　橋台01、写真4　橋台02			
支承部		Ⅱ	変色・劣化	写真5　支承201			
その他		Ⅱ	ゆるみ・脱落、舗装のひびわれ	写真6　防護柵、写真7　舗装			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	主桁に橋軸方向のひびわれが見られる他、床版の漏水が進展している。その他、下部工が浸食されており、早期に措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1977	13m	3.6m
橋梁形式		
1径間単純PCプレテン中空床版橋、その他橋台2基		

第1径間

起点側

第1径間

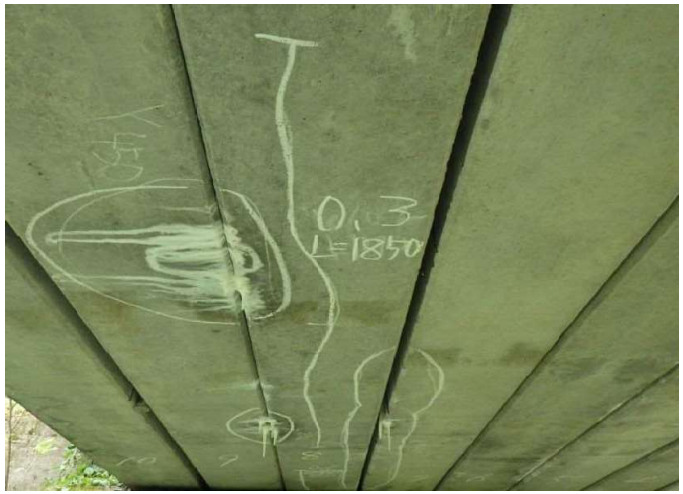
起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

様式２

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅲ　】	上部構造（床版）【判定区分：　Ⅱ　】
写真1  主桁08	写真2 床版02
下部構造【判定区分：　Ⅱ　】	**下部構造【判定区分：　Ⅱ　】**
写真3 橋台01	写真4 橋台02

様式２

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分：　Ⅱ　】	その他【判定区分：　Ⅱ　】
写真5 支承201	写真6 防護柵
その他【判定区分：　Ⅱ　】	**【判定区分：　　】**
写真7 舗装	

総点検調書:橋梁諸元

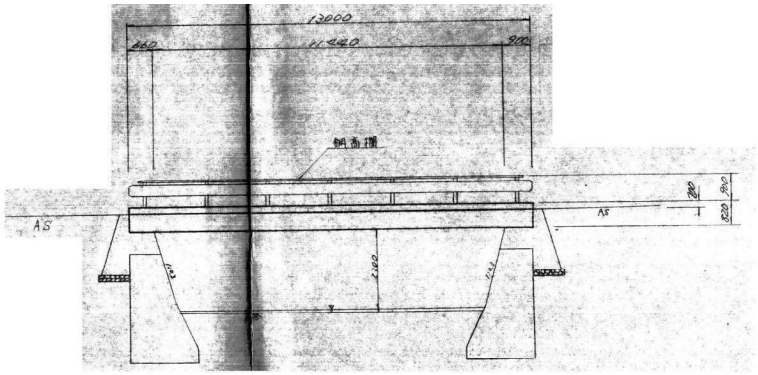
橋梁ID	34.92517,135.85547		橋梁No.	26204101040				
橋梁名	下庄大橋		路線名	西笠取46号線			管轄	京都府
所在地	自	西笠取下荘川西15番地先	位置情報(世界測地系)	起点(代表点)	緯度	34° 55'30.6"		宇治市
					経度	135° 51'19.7"		
	至	-		終点	緯度	34° 55'30.5"		-
					経度	135° 51'19.9"		

供用開始日	1977 年 3 月	活荷重・等級	T-14	適用示方書	-	
橋長	12.95 m	総径間数	1 径間	車道幅員	5.5m未満	
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	その他(橋台)	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年	-	大型車混入率	-		
	交通量(台/12h)	-	荷重制限	-		

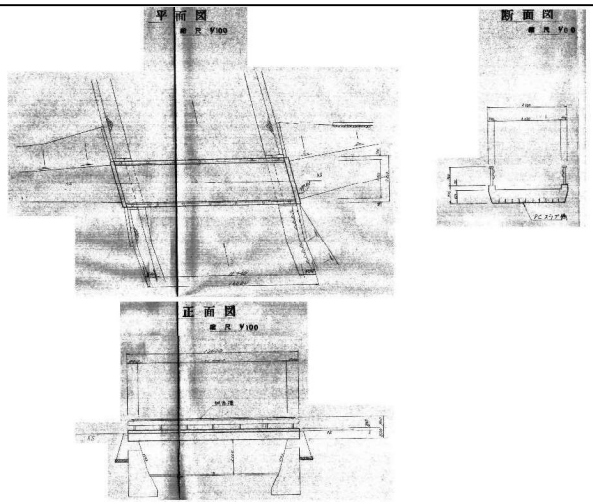
幅員									
	全幅員	3.60 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯
	有効幅員	3.00 m	0.30 m	0.00 m	3.00 m	0.00 m	0.00 m	0.30 m	0.00 m

海岸からの距離	-	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルートの指定	無
路下条件	河川				

全体図



径間別一般図



注1: 橋梁IDは、起点の位置情報(緯度・経度)によるものとする。なお、IDの取得については、参考－4:総点検調書の記入例を参照すること。
注2: 各道路管理者にて、既に独自の橋梁No.等を併記する。
注3: 緯度・経度については、0.1"単位まで記入することとする。
なお、位置情報(緯度・経度)の取得については、トータルステーション、ポータブルGPS等の機器のほか、携帯電話及びスマートフォンのGPS機能を用いて簡易に取得可能であるので参考とされたい。

総点検調書:総括表

橋梁ID	34.92517,135.85547
橋梁名	下庄大橋

点検実施日	2023年9月8日

径間番号	1

部材		① 点検状況	② 対象の有無	③ 異常の有無	④ 備考
橋梁本体	主桁	外	有	–	・その他は路面を対象としている。
	縦桁	–	無	–	
	横桁	–	無	–	
	対傾構	–	無	–	
	横構	–	無	–	
	主構トラス等	–	無	–	
	アーチリブ等	–	無	–	
	ラーメン主構等	–	無	–	
	斜張橋斜材等	–	無	–	
	吊り橋ケーブル等	–	無	–	
	床版	外	有	–	
	下部工	外	有	–	
	支承部	外	有	–	
	落橋防止システム	–	無	–	
	伸縮装置	済	有	無	
	高欄	–	無	–	
	地覆	済	有	無	
	排水管	外	有	–	
	その他	済	有	無	
附属物	遮音施設	–	無	–	
	防風施設	–	無	–	
	防雪施設	–	無	–	
	投げ捨て防止施設	–	無	–	
	照明施設	–	無	–	
	標識施設	–	無	–	
	道路情報提供施設	–	無	–	
	道路情報収集施設	–	無	–	
	その他	–	無	–	
添架物	点検施設	–	無	–	・水道管
	各種ケーブルラック	–	無	–	
	その他	外	有	–	
その他	防護柵(鋼製)	済	有	有	
	衝突防止施設	–	無	–	
	(現地で確認したもの)	–	無	–	

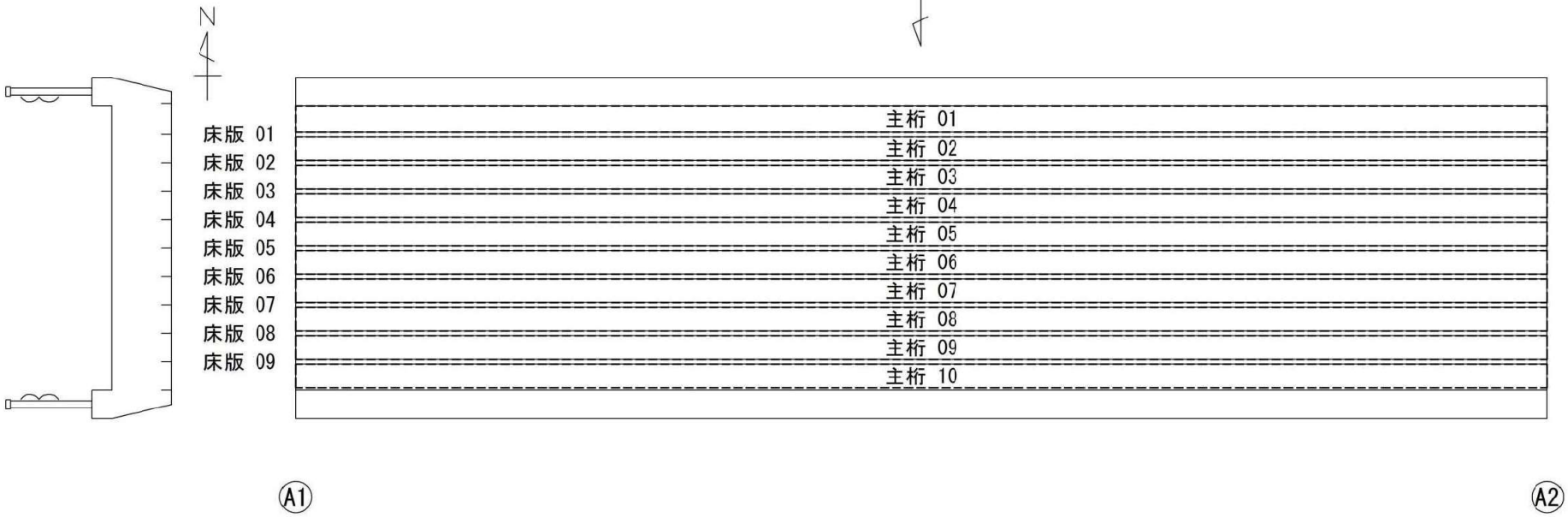
注1:　①欄には、点検状況を、「済」「未」「外」で記載
「外」とは、道路利用者及び第三者への被害が想定されない箇所のため、点検対象外であることを示す。
~~「未」の場合、「点検予定表」を作成~~
注2:　②欄には、対象施設の有無を、「有」「無」で記載
注3:　③欄には、異常の有無を「有」「無」で記載
対象となる主な損傷は、次のとおり
・鋼部材…著しい腐食、き裂・破断、ボルトのゆるみ・脱落
・コンクリート部材…うき・剥離、ひびわれ
・その他
~~「有」の場合、「損傷記録表」を作成~~
注4:　④欄には、「フェールセーフ機能の追加の必要性あり」、
「重大事故につながる損傷を発見」等、特記事項を記載

点検資料　部材番号図

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

部材番号図

【主桁・床版】

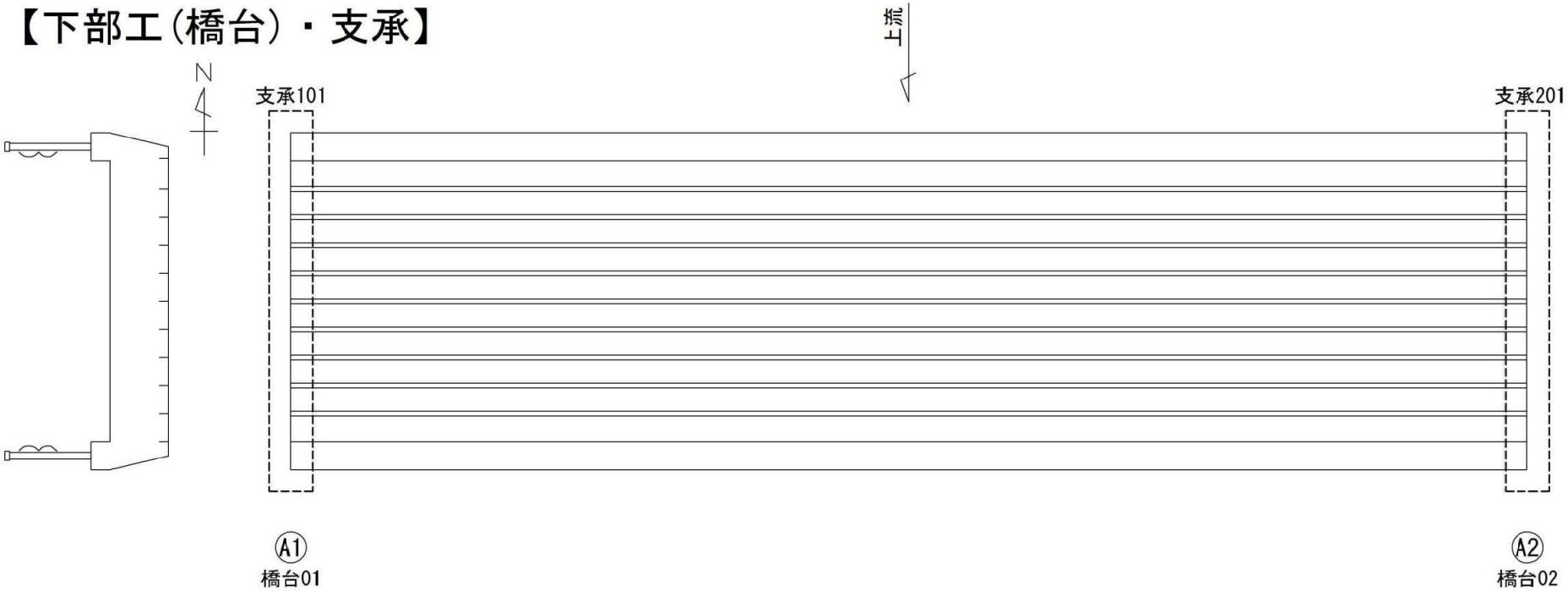


点検資料　部材番号図

フリガナ 橋梁名	シモジョウオオハシ 下庄大橋

部材番号図

【下部工(橋台)・支承】

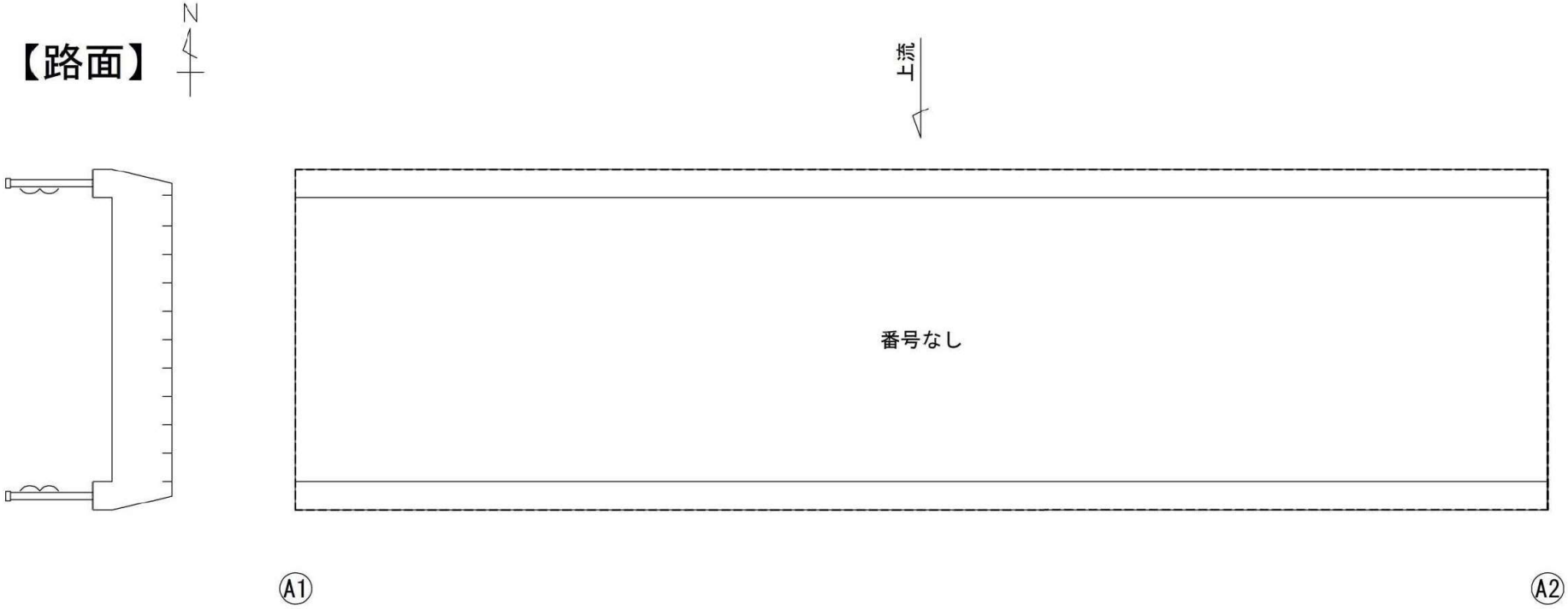


点検資料　部材番号図

フリガナ 橋梁名	シモジョウオオハシ 下庄大橋

部材番号図

【路面】



点検資料　現地状況写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

現地状況写真

写真番号	1	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	橋面全景（起点手前）	A1→A2	

写真番号	2	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	橋面全景（終点手前）	A2→A1	

写真番号	3	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	側面（左が起点）	下流から撮影	

写真番号	4	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	側面（右が起点）	上流から撮影	

点検資料　現地状況写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

現地状況写真

写真番号	5	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	桁下面（起点手前）	起点側から撮影 PCプレテンション桁	

写真番号	6	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	桁下面（終点手前）	終点側から撮影 PCプレテンション桁	

写真番号	7	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	A1橋台	終点側から撮影	

写真番号	8	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	A2橋台	起点側から撮影	

点検資料　現地状況写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

現地状況写真

写真番号	9	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	伸縮装置	起点側、下流から撮影	

写真番号	10	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	伸縮装置	終点側、下流から撮影	

写真番号	11	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	添架物	水道管φ150	

写真番号	12	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	橋名板(漢字)	下庄大橋	

点検資料　現地状況写真

フリガナ 橋梁名	シモジョウオオハシ 下庄大橋

現地状況写真

写真番号	13	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	橋名板(かな)	しもじょうおおはし	

写真番号	14	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	河川名板	笠取川	

写真番号	15	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	橋歴板	昭和52年3月竣工	

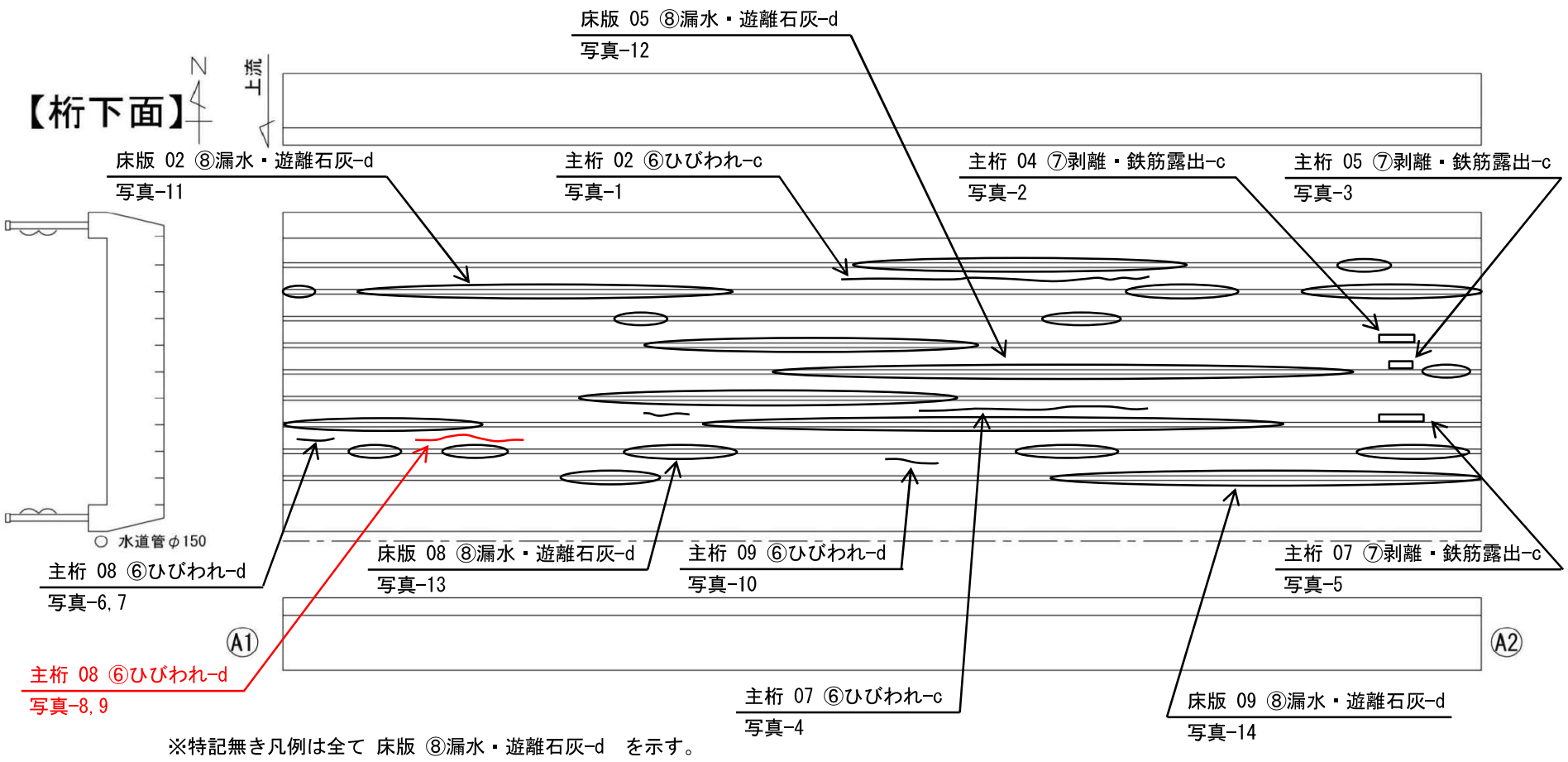
写真番号	16	撮影年月日	2023.09.08
径間番号	1	メモ	
写真説明	点検状況	梯子・脚立による点検	

点検資料　損傷図

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

＜注記＞
・損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領　平成31年3月　国土交通省　道路局　国道・技術課
・損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
・引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なしを含む）
・引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
・引出し線と文字の青は、補修済を示す
・単位：mm

損傷図



※特記無き凡例は全て 床版 ⑧漏水・遊離石灰-d　を示す。

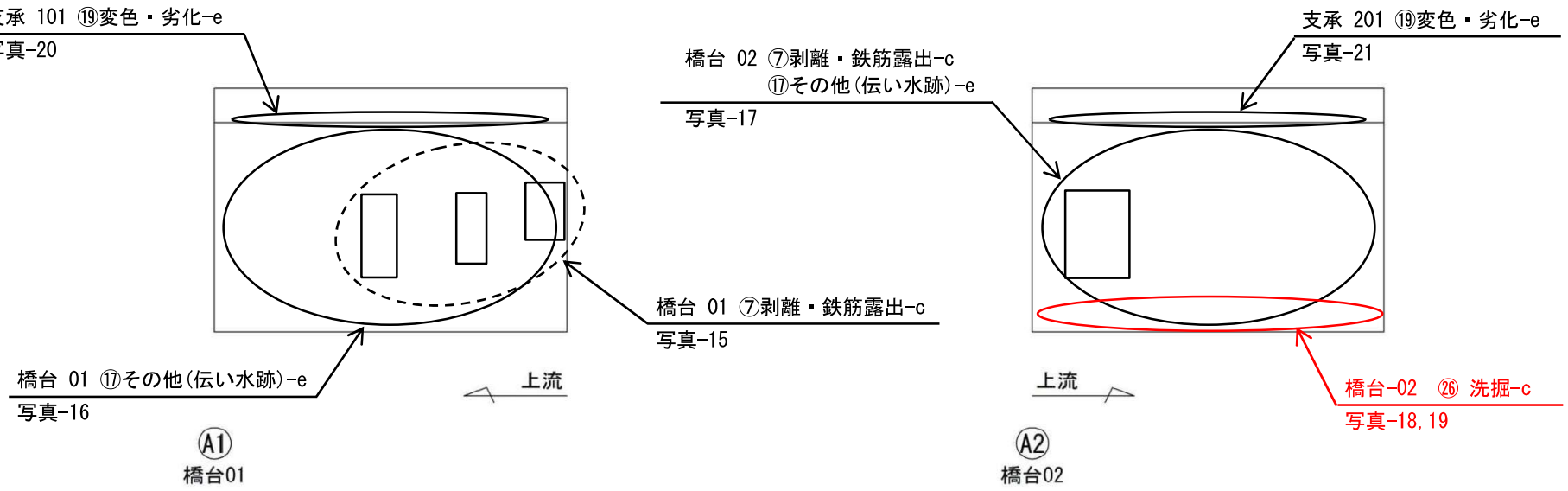
点検資料　損傷図

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

＜注記＞
・損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領　平成31年3月　国土交通省　道路局　国道・技術課
・損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
・引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なしを含む）
・引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
・引出し線と文字の青は、補修済を示す
・単位：mm

損傷図

【下部工(橋台)】

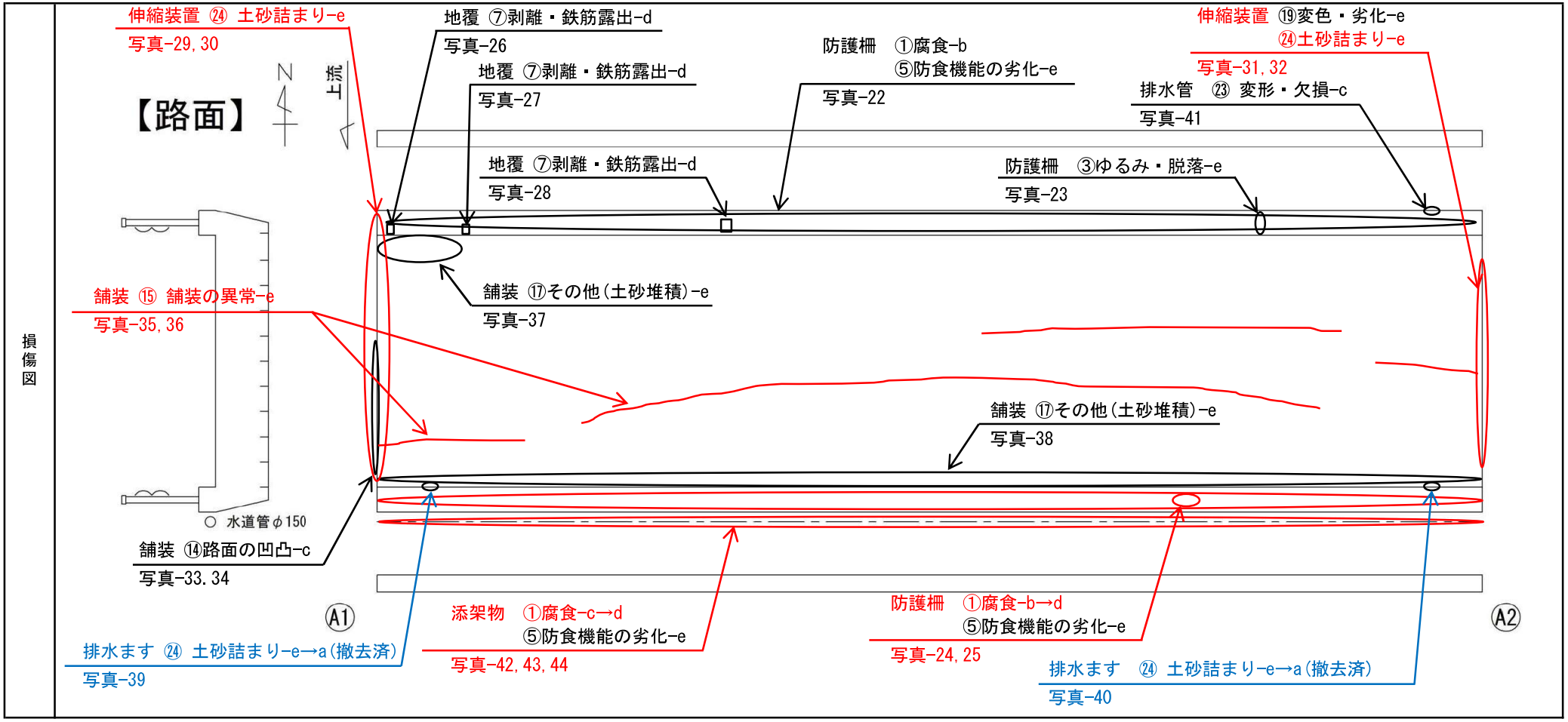


点検資料　損傷図

フリガナ 橋梁名	シモジョウオオハシ 下庄大橋

＜注記＞
・損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領　平成31年3月　国土交通省　道路局　国道・技術課
・損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
・引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なしを含む）
・引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
・引出し線と文字の青は、補修済を示す
・単位：mm

損傷図



点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	02	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 中・小 W=0.15mm、L=2280mm 主桁下面にひびわれが見られる。	

写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	04	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 230×40×20mm(再計測) 主桁下面に剥離が見られる。	

写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	05	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 140×40×20mm 主桁下面に剥離が見られる。	

写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	07	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 中・小 W=0.15mm、L=1880mm 主桁下面にひびわれが見られる。	

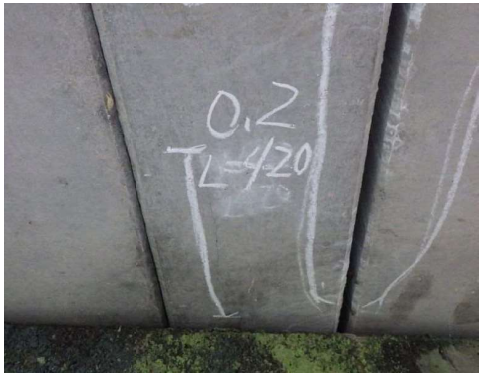
点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	07	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 270×40×30mm 主桁下面に剥離が見られる。	

写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	08	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 終点側から撮影 大・小 W=0.2mm、L=420mm 主桁下面にひびわれが見られる。	



写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	08	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	写真番号6の接写 W＝0.2mm	

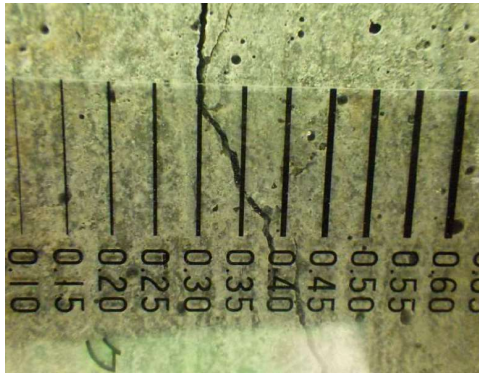
写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	08	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	前回点検から進展あり 写真奥が起点 終点側から撮影 大・小 W=0.2mm、L=1270mm ⇒W=0.3mm、L=1850mm 主桁下面にひびわれが見られる。	

点検資料　損傷写真

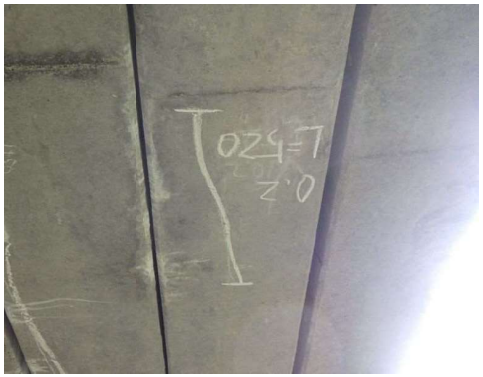
フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	9	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	09	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	写真番号8の接写 W＝0.3mm	



写真番号	10	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	主桁	部材番号	09	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 大・小 W=0.2mm、L=520mm 主桁下面にひびわれが見られる。	



写真番号	11	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	床版	部材番号	02	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 終点側から撮影 床版に遊離石灰が見られる。	

写真番号	12	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	床版	部材番号	05	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 床版に遊離石灰が見られる。	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	13	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	床版	部材番号	08	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 床版に遊離石灰が見られる。	

写真番号	14	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	床版	部材番号	09	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 床版に遊離石灰が見られる。	

写真番号	15	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	橋台	部材番号	01	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし A1橋台 終点側から撮影 1340×490×5mm 1040×400×5mm 900×600×10mm 竪壁前面に剥離が見られる。	

写真番号	16	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	橋台	部材番号	01	メモ	
損傷の種類	その他(伝い水跡)	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし A1橋台 終点側から撮影 竪壁前面に伝い水跡が見られる。	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	17	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	橋台	部材番号	02	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし A2橋台 起点側から撮影 1370×1020×10mm ⑰その他(伝い水跡)-e 竪壁前面に剥離、伝い水跡が見られる。	

写真番号	18	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	橋台	部材番号	02	メモ	
損傷の種類	洗掘	損傷程度	c	新規損傷 A2橋台 起点側から撮影 900×4050×300mm 竪壁に洗掘がみられる。	

写真番号	19	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	橋台	部材番号	02	メモ	
損傷の種類	洗掘	損傷程度	c	写真番号18の接写 D=300mm	

写真番号	20	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	支承	部材番号	101	メモ	
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 終点側から撮影 支承に劣化が見られる。	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	21	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	支承	部材番号	201	メモ	
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし 写真手前が起点 起点側から撮影 支承に劣化が見られる。	

写真番号	22	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	防護柵(鋼製)	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	b	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 起点側から撮影 ⑤防食機能の劣化-e 防食塗膜の劣化により、錆が発生している。	

写真番号	23	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	防護柵(鋼製)	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 防護柵にボルトの脱落が見られる。(2/4本)	

写真番号	24	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	防護柵(鋼製)	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	前回点検から進展あり 写真奥が起点 起点側から撮影 ⑤防食機能の劣化-e 防食塗膜の劣化により、局部的に著しい腐食が発生している。 前回点検 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-e	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	25	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	防護柵(鋼製)	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	写真番号24の接写 支柱基部に著しい腐食が見られる。	

写真番号	26	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	地覆	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 100×60×3㎜ 地覆に鉄筋露出が発生しており、鉄筋には腐食が見られる。 (防錆処置済)	

写真番号	27	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	地覆	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 100×70×3㎜ 地覆に鉄筋露出が発生しており、鉄筋には腐食が見られる。 (防錆処置済)	

写真番号	28	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	地覆	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 130×60×5㎜ 100×50×10㎜ 地覆に鉄筋露出が発生しており、鉄筋には腐食が見られる。 (防錆処置済)	

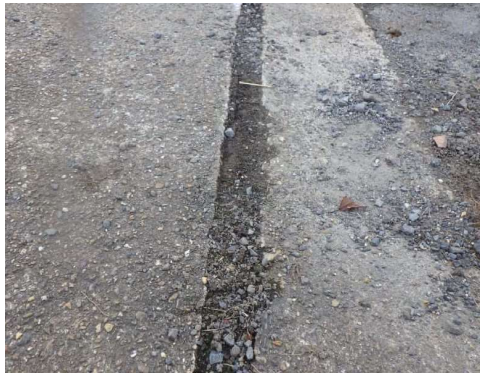
点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	29	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	伸縮装置	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	新規損傷 写真右が起点 上流側から撮影 伸縮装置に土砂詰まりが見られる。	

写真番号	30	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	伸縮装置	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	写真番号29の接写	



写真番号	31	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	伸縮装置	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e	前回点検から進展あり 写真右が起点 上流側から撮影 ㉔土砂詰まり-e 伸縮装置に土砂詰まりが見られる。 前回点検 ⑲変色・劣化	

写真番号	32	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	伸縮装置	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e	写真番号31の接写	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	33	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	－	メモ	
損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 H=10mm 舗装に段差が見られる。	

写真番号	34	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	－	メモ	
損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	写真番号33の接写 H=10mm	

写真番号	35	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	－	メモ	
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	e	新規損傷 写真手前が起点 起点側より撮影 W=5.0, L=7900mm W=5.0, L=4800mm W=5.0, L=1700mm W=5.0, L=1400mm 舗装にひびわれが見られる。	

写真番号	36	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	－	メモ	
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	e	写真番号35の接写 W＝5.0mm	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	37	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	その他(土砂堆積)	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし 写真左が起点 下流側から撮影 舗装に土砂堆積が見られる。	

写真番号	38	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	舗装	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	その他(土砂堆積)	損傷程度	e	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 起点側から撮影 舗装に土砂堆積が見られる。	

写真番号	39	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	排水ます	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	a	前回点検点検から撤去済 写真右が起点 上流側から撮影 前回見られた排水ますの土砂詰まりは撤去済。	

写真番号	40	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	排水ます	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	a	前回点検から撤去済 写真右が起点 上流側から撮影 前回見られた排水ますの土砂詰まりは撤去済。	

点検資料　損傷写真

フリガナ	シモジョウオオハシ
橋梁名	下庄大橋

損傷写真

写真番号	41	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	排水管	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	前回点検から大きな進展なし 写真奥が起点 終点側から撮影 排水管に欠損が見られる。	

写真番号	42	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	添架物	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	前回点検から進展あり 写真左が起点 下流側から撮影 ⑤防食機能の劣化-e 防食塗膜の劣化により、局部的に著しい腐食が発生している。 前回点検 ⑤腐食-c ⑤防食機能の劣化-e	

写真番号	43	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	添架物	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	写真番号42の接写 添架物に孔食が見られる。	

写真番号	44	径間番号	1	撮影年月日	2023.09.08
部材名	添架物	部材番号	-	メモ	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	写真番号43の接写 添架物に孔食が見られる。	